

調査・検討項目

1 共通

(1) 屋内運動場の現状調査

既存図面や地図、現地確認等により、屋内運動場の構造、屋内運動場内の形状、建物周辺の敷地状況など、機器を配置する上で必要な情報の調査を行う。

(2) プロット図の作成

採用した空調方式について、機器の配置計画を検討しプロット図を作成する。その際、既存図面データ等を流用して作成することも可能とする。なお、配置計画の検討に当たっては、建物周辺の遊具等及び敷地境界付近における他施設や家屋の有無など、周辺環境への影響（機器配置による騒音や臭気など）を考慮すること。

(3) アスベスト成形板等調査

既存図面により、アスベスト成形板等調査を行う。（ただし、本業務内では、測定、試料採取、分析及び飛散防止対策の検討等は見込んでいない。）

2 電気設備

(1) 既設受変電設備の現状調査

受電容量、既存盤位置、空き容量など機器選定に必要な情報の調査を行う。

(2) 既設受変電設備の改修等の要否

(1)の結果を踏まえ、採用した空調方式について、既設受変電設備の改修等の要否を検討する。その際、改修等を要する学校については、屋内運動場への特例需要場所（低圧・高圧）の適用の可否について、中国電力株式会社と協議すること。

3 機械設備

(1) 既設引込都市ガス管の利用の可否等（都市ガス式が想定される場合）

GHP（都市ガス式）の採用が想定される場合は、既存ガス引込管の利用の可否（空調用に都市ガス管の新規引込が必要な場合は、引込の可否及び引込場所）について、広島ガス株式会社と協議すること。

(2) バルクタンク容量の検討（プロパンガス式が想定される場合）（モデル校を想定）

GHP（プロパンガス式）の採用が想定される場合の、バルクタンクの容量及び必要な設置スペースを検討（ボンベと比較検討）する。なお、空調機の稼働時間の想定は発注者から別途指示する。

(3) その他

屋内機の設置方法が複数案想定される学校については発注者と適宜協議すること。また、R32冷媒採用時には、冷媒漏えい安全対策の要否について検討すること。